

## 平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年8月8日

上場会社名 株式会社ダスキン  
 コード番号 4665 URL <http://www.duskin.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伊東 英幸  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 西山 精也  
 四半期報告書提出予定日 平成20年8月12日

上場取引所 東大

TEL 06-6387-3411

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	46,922	—	3,876	—	4,552	—	1,916	—
20年3月期第1四半期	47,534	—	3,956	—	4,340	—	2,496	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第1四半期	28.53	—
20年3月期第1四半期	37.05	—

## (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第1四半期	189,620	138,702	72.6	2,054.15		
20年3月期	195,822	139,664	70.7	2,054.32		

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 137,593百万円 20年3月期 138,431百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	—	—	40.00	40.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	40.00	40.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	96,000	1.1	6,200	△17.5	6,900	△13.5	3,600	△9.0	53.42
通期	196,000	1.9	13,200	△7.5	14,000	△8.3	7,500	4.2	111.30

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

## 4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無  
 新規 — 社(社名) 除外 — 社(社名)
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有  
 (注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご参照ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)  
 ① 会計基準等の改正に伴う変更 有  
 ② ①以外の変更 無  
 (注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご参照ください。
- (4) 発行済株式数(普通株式)  
 ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第1四半期 67,394,823株 20年3月期 67,394,823株  
 ② 期末自己株式数 21年3月期第1四半期 411,475株 20年3月期 9,495株  
 ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第1四半期 67,184,362株 20年3月期第1四半期 67,386,640株

## ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 業績予想に關しましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項につきましては、3ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご参照ください。
2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

## 【定性的情報・財務諸表等】

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期（平成20年4月1日～平成20年6月30日）における我が国の経済は、米国サブプライムローン問題の長期化、原油価格、穀物価格の高騰等を背景に、景気の先行きは不透明感を増しております。ガソリン価格や食料品等生活必需品の相次ぐ値上げ等で、生活防衛意識は一段と高まり、消費動向も弱含みで推移しており、当社を取り巻く環境は一段と厳しさを増しました。

このような厳しい環境の下、中期経営方針「共生と飛躍」2年目の当期は、クリーンサービス事業を中心とする訪問販売事業においては、前期にスタートを切った「責任ユニット制度」「紹介制度」「サポート店制度」を活用して、地域に根ざした小商圏での営業活動に注力しております。ミスタードーナツ事業においては、新商品の発売、新規出店、既存店舗の改装を積極的に行い、更に、今年2月に締結した株式会社モスフードサービスとの資本業務提携に関して、より具体的な内容を発表致しました。また新たに、気軽に片手で持って食べられるスティック型ケーキショップ（1号店「ゆめタウン高松店」は平成20年7月18日オープン致しました。）、女性専用の簡易型フィットネスクラブ、靴のクリーニング・リペア事業についてフランチャイズチェーン展開を目指した準備も着々と進めており、「飛躍」を遂げるための土台作りに邁進して参りました。

以上の結果、当第1四半期の業績は、その他事業は堅調に推移したものの、愛の店関連事業、フードサービス事業、ケアサービス事業で苦戦し、連結売上高469億22百万円（前年同期比1.3%減）、連結営業利益38億76百万円（前年同期比2.0%減）、連結経常利益45億52百万円（前年同期比4.9%増）、連結四半期純利益19億16百万円（前年同期比23.2%減）となりました。

#### [事業の種類別セグメント毎の状況]

##### (1) 愛の店関連事業

当社の主力事業でありますクリーンサービス事業の売上高は、家庭市場、事業所市場とも前年同期に比べ僅かながら減少しました。

家庭市場におきましては、床用モップ、ハンディモップ、消火器等の売上が減少しました。しかしながら、アレル物質抑制成分を配合した新機能モップ、昨年発売した機能重視のサイクロン式スタンドクリーナー等は堅調に推移しております。

事業所市場におきましては、汎用マット、キャビネットタオル、ハンドドライヤー（温風手指乾燥機）本体の売上が減少しましたが、空気清浄機「クリーン空感」等は順調に推移しております。

ヘルス&ビューティ事業は、健康食品の売上は増加しましたが、化粧品売上が減少しました。

その結果、愛の店関連事業全体の売上高は263億22百万円（前年同期比1.8%減）、営業利益は51億60百万円（前年同期比2.1%減）となりました。

##### (2) フードサービス事業

当第1四半期のミスタードーナツ事業は、前年同期と比べるとお客様数の減少が顕著で、売上高は減少しました。しかしながら、5月「デニッシュリング」及び6月「フルーツシュー」の新商品は好評を得て、お客様数は回復傾向にあり、ドーナツ原材料売上は前期を上回りました。

その他のフードサービス事業では、カフェデュモンド事業は堅調に推移しましたが、かつアンドかつ事業、その他レストラン事業及び海鮮丼チェーンを運営する株式会社どんの売上は、お客様数及び店舗数の減少により前年同期を下回りました。

その結果、フードサービス事業全体の売上高は128億1百万円（前年同期比0.5%減）、営業利益は12億50百万円（前年同期比33.7%増）となりました。

##### (3) ケアサービス事業

ケアサービス4事業（サービスマスター、メリーメイド、ターミックス、トゥルグリーン）の売上高は、前年同期に比べ減少しました。サービスマスターは、エアコンクリーニングサービス及びハウスワイドサービス（ご家庭のお掃除を丸ごと引受けるオーダーメイドサービス）の売上が減少しましたが、メリーメイド、ターミックス、トゥルグリーンは前期の売上を上回りました。

高齢者生活支援サービスのホームインステッド事業（公的介護保険制度ではないプライベートサービス）は、順調にお客様売上が増加しロイヤルティ売上は増加しましたが、前期末に直営店の統廃合で1店閉鎖したことにより、直営店売上が減少しました。介護保険適用の高齢者介護サービスを事業とする株式会社ダスキンゼロケアは、前期に不採算店の統廃合を進めたことで、売上高は減少しました。株式会社ダスキンヘルスケアで展開している病院施設のマネジメントサービスは、新規のお客様獲得が順調に推移、特にマテリアル・マネジメントサービス（滅菌消毒業務）が堅調で、前年同期の売上を上回りました。

その結果、ケアサービス事業全体の売上高は52億28百万円（前年同期比1.8%減）、営業損失は93百万円（前年同期の営業損失1億50百万円）となりました。

#### (4) その他事業

レントオール事業の売上高は、前年同期に比べ減少しました。お客様売上は前年同期を上回り、ロイヤルティ売上は増加しましたが、前期に不採算直営店の統廃合を進め稼働店舗数が減少したことで、直営店売上が減少しました。

ユニフォームサービス事業、ドリンクサービス事業の売上高は前年同期比微減、リース事業を展開するダスキン共益株式会社は、ほぼ前年同期並の売上高となりました。

その結果、その他事業全体の売上高は25億69百万円（前年同期比1.6%増）、営業利益は35百万円（前年同期比65.3%減）となりました。

なお、上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期末における総資産は、1,896億20百万円となりました。前連結会計年度末（以下「前期末」という）と比較して62億2百万円減少しております。その要因は、短期資金運用の商業ペーパー償還等により有価証券が38億88百万円、現金及び預金が15億60百万円減少したこと等であります。

負債合計は509億18百万円となり、前期末と比較して52億40百万円減少しております。その要因は、未払法人税等が23億17百万円、賞与引当金が15億59百万円減少したこと等であります。

純資産合計は1,387億2百万円となり、前期末と比較して9億62百万円減少しております。その要因は、投資有価証券の時価の回復によりその他有価証券評価差額金が8億46百万円増加したことに対し、四半期（当期）純利益19億16百万円と剰余金の配当26億95百万円との差引等による利益剰余金8億31百万円の減少、7億59百万円の自己株式取得等によるものであります。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年3月期（平成20年4月1日～平成21年3月31日）の業績予想に関しましては、当第1四半期が概ね計画通りに推移したことから、平成20年5月15日に公表致しました従来の予想を変更しておりません。

## 4. その他

### (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### 簡便な会計処理

#### ① 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第1四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

#### ② たな卸資産の評価方法

たな卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積もり、簿価切下げを行う方法によっております。

#### ③ 繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関して、前連結会計年度末以降に経営環境等、及び一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法により算定しております。

#### 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

#### ① 税金費用の計算

連結子会社の税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

### (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

#### ① 四半期財務諸表に関する会計基準

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

②棚卸資産の評価に関する会計基準

通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として移動平均法による低価法によっておりましたが、当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、移動平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。

なお、この変更による損益に与える影響はありません。

③連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い

当第1四半期連結会計期間より「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第18号 平成18年5月17日）を適用し、連結決算上必要な修正を行っております。

なお、この変更による損益に与える影響はありません。

## 1 【四半期連結財務諸表】

## (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る要約 連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,371	20,931
受取手形及び売掛金	12,875	12,956
有価証券	3,094	6,983
商品及び製品	5,852	5,120
仕掛品	136	128
原材料及び貯蔵品	2,213	2,033
繰延税金資産	1,785	2,483
その他	2,586	2,415
貸倒引当金	△39	△39
流動資産合計	47,875	53,013
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	37,286	37,405
減価償却累計額	19,924	19,720
建物及び構築物（純額）	17,361	17,684
機械装置及び運搬具	19,338	19,045
減価償却累計額	11,908	11,715
機械装置及び運搬具（純額）	7,429	7,330
土地	23,738	23,738
建設仮勘定	203	409
その他	17,673	17,550
減価償却累計額	11,990	11,582
その他（純額）	5,683	5,967
有形固定資産合計	54,416	55,130
無形固定資産	5,753	6,000
投資その他の資産		
投資有価証券	62,539	62,052
長期貸付金	204	211
繰延税金資産	7,023	7,440
差入保証金	10,869	11,070
その他	1,084	1,060
貸倒引当金	△147	△157
投資その他の資産合計	81,574	81,677
固定資産合計	141,745	142,808
資産合計	189,620	195,822

(単位：百万円)

当第1四半期連結会計期間末  
(平成20年6月30日)

前連結会計年度末に係る要約  
連結貸借対照表  
(平成20年3月31日)

負債の部		
流動負債		
買掛金	7,703	7,477
1年内返済予定の長期借入金	1,397	1,590
未払法人税等	1,098	3,415
賞与引当金	1,985	3,544
ポイント引当金	991	868
未払金	5,645	7,135
レンタル品預り保証金	11,534	11,710
その他	4,892	4,757
流動負債合計	35,248	40,500
固定負債		
長期借入金	6,194	6,241
退職給付引当金	8,104	7,979
役員退職慰労引当金	38	37
債務保証損失引当金	120	91
長期未払金	137	164
長期預り保証金	900	927
負ののれん	173	216
固定負債合計	15,669	15,657
負債合計	50,918	56,158
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,352	11,352
資本剰余金	13,075	13,075
利益剰余金	117,325	118,157
自己株式	△777	△17
株主資本合計	140,976	142,568
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△3,193	△4,040
繰延ヘッジ損益	△20	△38
為替換算調整勘定	△168	△58
評価・換算差額等合計	△3,382	△4,136
少数株主持分	1,108	1,232
純資産合計	138,702	139,664
負債純資産合計	189,620	195,822

(2) 【四半期連結損益計算書】  
【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

当第1四半期連結累計期間  
(自平成20年4月1日  
至平成20年6月30日)

売上高	46,922
売上原価	25,940
売上総利益	20,981
販売費及び一般管理費	17,105
営業利益	3,876
営業外収益	
受取利息	272
受取配当金	111
設備賃貸料	298
受取手数料	48
負ののれん償却額	43
営業権譲渡益	3
雑収入	215
営業外収益合計	994
営業外費用	
支払利息	26
設備賃貸費用	85
たな卸資産評価損	24
たな卸資産廃棄損	5
持分法による投資損失	144
雑損失	32
営業外費用合計	318
経常利益	4,552
特別利益	
固定資産売却益	0
貸倒引当金戻入額	11
その他	12
特別利益合計	24
特別損失	
固定資産廃棄損	42
減損損失	61
投資有価証券評価損	638
債務保証損失引当金繰入額	29
その他	13
特別損失合計	785
税金等調整前四半期純利益	3,791
法人税等	1,908
少数株主損失(△)	△33
四半期純利益	1,916

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

a. 事業の種類別セグメント情報

当第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）

	愛の店 関連事業 (百万円)	フードサー ビス事業 (百万円)	ケアサー ビス事業 (百万円)	その他事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	26,322	12,801	5,228	2,569	46,922	—	46,922
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	4	0	15	750	771	(771)	—
計	26,327	12,801	5,244	3,320	47,693	(771)	46,922
営業利益	5,160	1,250	△93	35	6,353	(2,476)	3,876

b. 所在地別セグメント情報

当第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

c. 海外売上高

当第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）

海外売上高が、連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成20年5月15日の取締役会決議に基づき、平成20年5月16日の自己株式立会外買付取引（ToSTNeT-3）により、400,000株を7億56百万円で買い付けました。この結果、当第1四半期連結会計期間において、単元未満株式の買取とあわせて自己株式が7億59百万円増加し、当第1四半期連結会計期間末において自己株式が7億77百万円となっております。



「参考資料」

前四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

(注) 適用初年度における「四半期決算短信」については、適用される会計基準や用語、様式及び作成方法に関する規則が、これまで開示してきた「四半期財務・業績の概況」におけるものと異なるため「参考資料」として記載しております。

前第1四半期連結累計期間(自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日)

科目	前第1四半期連結累計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日)	
	金額 (百万円)	百分比 (%)
I 売上高	47,534	100.0
II 売上原価	26,076	54.9
売上総利益	21,457	45.1
III 販売費及び一般管理費	17,501	36.8
営業利益	3,956	8.3
IV 営業外収益	802	1.7
1 受取利息	191	
2 受取配当金	110	
3 設備等賃貸収入	228	
4 紹介等手数料収入	57	
5 負ののれん償却額	43	
6 顧客権譲渡益	12	
7 雑収入	158	
V 営業外費用	418	0.9
1 支払利息	50	
2 設備等賃貸費用	95	
3 たな卸資産評価損	98	
4 製品等廃棄損	7	
5 持分法による投資損失	137	
6 雑損失	29	
経常利益	4,340	9.1
VI 特別利益	62	0.1
1 固定資産売却益	3	
2 貸倒引当金戻入益	44	
3 その他	14	
VII 特別損失	72	0.2
1 固定資産廃棄損	27	
2 その他	45	
税金等調整前四半期純利益	4,330	9.1
法人税等	1,870	3.9
少数株主損失 (△)	△36	△0.1
四半期純利益	2,496	5.3

(2)セグメント情報

a. 事業の種類別セグメント情報

前第1四半期連結累計期間(自平成19年4月1日至平成19年6月30日)

	愛の店 関連事業 (百万円)	フード サービス事業 (百万円)	ケア サービス事業 (百万円)	その他事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高	26,817	12,865	5,347	3,353	48,384	(850)	47,534
営業費用	21,544	11,930	5,498	3,252	42,225	1,352	43,577
営業利益 (又は営業損失)	5,272	935	△150	101	6,158	(2,202)	3,956

b. 所在地別セグメント情報

前第1四半期連結累計期間(自平成19年4月1日至平成19年6月30日)

全セグメントの売上高の合計及び全セグメントの資産の金額の合計額に占める「本邦」の割合がいずれも90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

c. 海外売上高

前第1四半期連結累計期間(自平成19年4月1日至平成19年6月30日)

海外売上高が、連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。